

**製品名: STARD4 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21241**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:100-1:300
分子量	Calculated MW::Observed MW:23kD

**抗原情報**

遺伝子名	STARD4
別名	STARD4;StAR-related lipid transfer protein 4 ;START domain-containing protein 4;StARD4;
遺伝子 ID	134429.0
SwissProt ID	Q96DR4
免疫原	ヒト STARD4 の組み換えタンパク質

**背景**

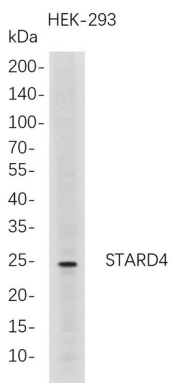
コレステロールの恒常性は、少なくとも部分的には、ステロール調節エレメント (SRE) 結合タンパク質 (例: SREBP1; MIM 184756) および肝臓 X 受容体 (例: LXRA; MIM 602423) によって制御されています。ステロールが枯渇すると、LXR は不活性とな

り、SREBPは切断されます。その後、LXRはプロモーターSREに結合し、コレステロールの生合成と取り込みに関与する遺伝子を活性化します。ステロール輸送は、小胞またはステロイド産生急性調節タンパク質（STAR; MIM 600617）などの可溶性タンパク質キャリアによって媒介されます。STARは、STARD4（Soccio et al., 2002 [PubMed 12011452]）を含む、200~210アミノ酸のSTAR関連脂質輸送（START）ドメインを含むタンパク質ファミリーと相同性がある。[OMIM提供、2008年3月]

## 研究分野

-

## 画像データ



HEK-293全細胞ライセートのウェスタンブロット解析では、4~20% SDS-PAGEで分離し、メンブレンを抗STARD4ウサギモノクローナル抗体でプロットングした。抗体の検出には、HRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H + L)抗体を用いた。